

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成30年度)

施設の名称	宮城県第二総合運動場
指定管理者の名称	宮城県スポーツ協会・ミズノグループ
施設所管部課(室)	教育庁 スポーツ健康課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ	
平成29年 4月 ~ 令和4年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ協会(振興財団)・ミズノグループ	H30.4.1名称変更

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	宮城県スポーツ協会・ミズノグループ
	所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
指定期間	平成29年4月 1日 ~ 令和4年3月31日 (5か年)	
募集方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県第二総合運動場	
所在地	宮城県仙台市太白区根岸町15-1	
設置年月	昭和56年 4月	
根拠条例等	総合運動場条例	
設置目的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施設の内容	敷地面積	27,319.52㎡
	構造	武道館:鉄筋コンクリート造5階建,弓道場:木造1階及び鉄骨造1階,クライミングウォール:鉄骨造,合宿所:鉄骨造2階建
	内容	宮城県武道館、宮城県弓道場、宮城県クライミングウォール、宮城県合宿所
開館(所)日	年末年始(12/29~翌1/3日迄)及び毎月1,3,5月曜(休館日)を除く毎日	
開館(所)時間	午前9時00分~午後9時00分/日・祝日午前9時~午後5時	
指定管理者が行う業務の範囲	1 本施設の管理運営業務 2 本施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3 本施設の使用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設の機械設備の操作・日常点検業務 5 本施設の施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 6 その他本施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
開館(所)日数	335 日	335 日	334 日	99.7%	99.7%
延べ利用者数	101,526 人	101,526 人	104,084 人	102.5%	102.5%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
武道館	60,139 人	60,139 人	60,170 人	100.1%	100.1%
弓道場	25,775 人	25,775 人	28,208 人	109.4%	109.4%
合宿所	3,705 人	3,705 人	3,313 人	89.4%	89.4%
クライミングウォール	243 人	243 人	382 人	157.2%	157.2%
運動場来場者(無料観客・見学)	11,664 人	11,664 人	12,011 人	103.0%	103.0%
合 計	101,526 人	101,526 人	104,084 人	102.5%	102.5%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
県指定管理料	56,600	56,600	56,600	100.0%	100.0%
利用料金収入	13,657	13,116	14,309	104.8%	109.1%
その他	2,819	4,022	2,828	100.3%	70.3%
収入計 (a)	73,076	73,738	73,737	100.9%	100.0%

(2) 支出

人件費	30,994	31,867	31,522	101.7%	98.9%
施設管理費	29,297	27,320	29,943	102.2%	109.6%
事業運営費	6,533	6,381	6,034	92.4%	94.6%
その他	6,252	6,999	5,588	89.4%	79.8%
支出計 (b)	73,076	72,567	73,087	100.0%	100.7%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	1,171	650	#DIV/0!	55.5%
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(単位:千円, %)					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
事業費	3,631	2,990	2,846	78.4%	95.2%
参加料収入	2,466	4,009	2,742	111.2%	68.4%
収入計 (a)	6,097	6,999	5,588	91.7%	79.8%
(2) 支出					
人件費	1,470	1,667	1,227	83.5%	73.6%
施設管理費	845	1,194	529	62.6%	44.3%
事業運営費	1,034	1,332	1,084	104.8%	81.4%
その他	2,748	2,806	2,748	100.0%	97.9%
支出計 (b)	6,097	6,999	5,588	91.7%	79.8%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0		
前期繰越収支差額	0		0		
次期繰越収支差額	0		0		

※ 自主事業を実施している場合は, 上記に準じて, 自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成30年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】		評価
	正規	非正規					
①管理運営体制	<p>○内部組織を総務部・事業企画部・スポーツ推進部とし、今期コンソーシアムを構成して7年目となるミズノグループと連携し効率的な管理運営体制とした。</p> <p>○職員の資質・知識の向上を図り、サービス向上に努めた。</p>		<p>○適切な業務分担により、効率的な管理運営体制が構築できた。</p> <p>○県担当課、協会事務局、コンソーシアムグループ及び関係各所との連携・協力により円滑な管理運営ができた。</p> <p>○職場内の情報の共有及び職員の資質・知識の向上に取り組み、利用者サービスの向上を図れた。</p>	S	<p>適切な人員配置、各種研修の実施により、効果的な管理運営が図られている。</p>		A
人員体制	正規	5人	非正規	3人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>○定期・法定点検に加え、職員による日常点検を実施した。</p> <p>○経年劣化により動作不良等の不具合が生じていた合宿所換気扇の交換を実施した。</p> <p>○武道館の道場及び弓道場照明の交換を行った。</p> <p>○施設の利用状況に応じた植栽管理を行い、環境整備・美観の維持に取り組んだ。</p>		<p>○各種点検により施設・設備の状況を常に把握し、不具合箇所の早期発見及び早期対応により重大事故等の発生を未然防止できた。</p> <p>○専門業者による照明及び換気扇交換により施設の機能維持・長寿命化を図れた。</p> <p>○敷地内樹木、屋外施設周辺の植栽管理の強化により環境整備・美観の維持が図れた。</p>	S	<p>日常点検を徹底し、重大事故の未然防止に努めている。また、換気扇の改修や照明交換など、適正な施設の維持管理に努めている。</p>		A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>○県民全般が参加できる教室プログラムとし、一般向け運動教室(ヨガ・ズンバ・バレトン等)、子ども向け親子運動教室や走り方教室を実施した。</p> <p>○骨密度・体組成を測定する測定会事業を継続的に実施し、県民の健康寿命の延伸を図った。</p>		<p>○世代別に参加しやすいプログラム提供及び都度利用という気軽いつでも参加できる運営システムに改善し、県民の日常的な運動機会の増加に寄与した。</p> <p>○高齢者層をターゲットとした測定会を実施し、県民の健康意識の向上及び生涯にわたるスポーツ活動の機会の提供に貢献した。</p>	S	<p>未就学児向けの運動基礎指導や高齢者向けの測定会を実施しており、幅広い年齢層のニーズに応えながら、利用者数の増加及び県民の健康意識の向上に貢献している。</p>		S
④自主事業の実施	<p>○本施設が事務局を兼ねている「宮城県公立武道館協議会」の加盟館として、寒げい古を実施した。</p> <p>○日本武道館や県内武道団体と連携し、指導者の資質向上を目的とした指導者研修会の開催や、選手の競技力向上を目的とした錬成大会を開催した。</p> <p>○武道競技団体・近隣高校・商店街等の地元地域の協力のもと、施設開放事業として武道館まつりを開催した。</p>		<p>○県内各地の加盟館において毎年1月に寒げい古を開催し、本施設も一加盟館として柔道・なぎなた競技を実施し武道の普及・振興に貢献した。</p> <p>○日本武道館や県内武道団体との連携により開催した指導者研修会・青少年武道錬成大会は、中央から講師を招き、指導を受けることで指導者としての心得を改めて学び、競技者としての競技力向上も図る機会となり、参加者から高評価を得た。</p> <p>○県民全般が共に楽しめる施設開放事業として武道館まつりを毎年開催している。</p> <p>武道団体の演武をはじめ、近隣高校による演奏会等の様々な催しに加え、各種団体や地元商店街等の協力を得ながら地域に密着した事業となった。また、地域に根ざした施設の姿勢を対外的に強くアピールできた。</p>	S	<p>各種競技団体と連携して競技力向上のための研修会を実施するとともに、地域密着型の事業を展開することにより、新規利用者のほか、リピーター、将来的な利用者の増加等に努めている。</p>		S
⑤利用者サービスの向上	<p>○貸切利用における早朝・延長利用など利用希望に沿った柔軟な施設提供を行った。</p> <p>○最寄駅・バス停の時刻表や近隣商業施設の案内地図を施設内に掲示し利便性の向上を図った。</p> <p>○ホームページ・フェイスブックに加え、新聞折り込み等により事業のPRを行った。</p>		<p>○特に競技会等の利用時には開閉時間の延長や休館日の施設利用について積極的に対応することができた。</p> <p>○全国から参加者が集まる大会・審査会等の開催時に公共交通機関や周辺地域をスムーズに案内することで利便性の向上を図ることができた。</p> <p>○リアルタイムに情報を発信し、多世代が利用し易い施設であることをPRすることができた。</p>	S	<p>利用者のニーズをくみ取り、開館時間の柔軟な対応など、きめ細かな対応をしている。また、ホームページ等でも最新情報を提供しており、利用者の利便性向上のための工夫が見られる。</p>		A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>○施設巡回時や窓口対応時における直接的な意見や要望等の把握に努めた。</p>		<p>○ご意見・ご要望等については迅速に対応し、利用者サービスの向上を図った。</p> <p>【対応事例】 ・扇風機増設(2階, 4階)</p>	S	<p>利用者アンケートを継続実施するとともに、利用者の意見・要望で、対応可能なものについては、迅速に対応している。</p>		S
⑦安全対策	<p>○職員による日常点検を実施し、リスクマネジメントに取り組んだ。</p> <p>○消防訓練を実施した。</p> <p>○各所にWBGT値表示版を設置し、掲示物等により熱中症予防の注意喚起を行った。</p>		<p>○施設の瑕疵による事故・怪我等の発生はなかった。また、予防修繕を実施し、安全・安心な施設の提供ができた。</p> <p>○消防訓練では避難誘導方法を理解するとともに、緊急時対応における職員の知識や技能の向上が図れた。</p> <p>○時季に応じた注意喚起を行い、より活動しやすく安全な利用環境の提供ができた。</p>	S	<p>施設においては、職員による日常点検を実施しており、重大事故の予防に努めている。また、WBGT(暑さ指数)値表示版を設置するなど熱中症予防対策も実施している。</p> <p>なお、緊急時の安全対策として、避難訓練を実施しており、職員の知識・緊急対応の向上に向けた取組も行っている。</p>		A
⑧県民の平等利用	<p>○貸切利用については、ホームページに年間利用に関する情報を掲載し、県民の平等利用に努めた。</p> <p>○次年度の利用希望については、指定管理者で策定した基準をもとに調整を行い、大会等の安定開催に努めた。</p> <p>○個人利用については、利用拒否等の事例もなく、県民誰もが平等に利用できる管理運営を行った。</p>		<p>○指定管理者で策定した管理運営規程をもとに、施設運営を行い、県民誰もが公平に利用できる環境を提供できた。</p> <p>○持ち回り大会等の大規模大会については、事前に内容を把握し、関係団体との連携・調整を図ることにより円滑な施設提供ができた。</p> <p>○個人利用に関するトラブルもなく、誰もが平等に利用できる環境を提供することができた。</p>	S	<p>各種大会での貸切利用の日程をあらかじめホームページで公開することにより、個人利用者への配慮が見られた。</p>		A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	○指定管理者独自の個人情報保護規定を策定・遵守するとともに、個人情報の取扱いについての考え方をホームページ上に掲載して一般に公表した。 ○専門業者による書類等の廃棄を実施した。 ○個人情報を管理しているシステムへのログインパスワードを定期的に変更し、不正アクセスや情報漏えい防止に努めた。	○個人情報の取扱いは、組織の規程を遵守し取扱いに細心の注意をはらったため、漏えい等は発生せず、個人情報の保護を図ることができた。 ○個人情報を管理しているシステムへのアクセス方法や個人情報の廃棄についても取扱いを徹底し、各職員に強く意識づけが図れた。	S	独自の個人情報保護規程を策定し、情報の漏洩、き損及び滅失の防止に努めた。個人情報の取扱いについてホームページ上で公開し、利用者への配慮が見られた。	A
⑩利用実績	○上記「4. 施設利用実績」のとおり	○東北総合体育大会の会場になったこと及び弓道場の利用者数増加に伴い、前年度と比較して増加とすることができた。 他の施設においても前年度と同様の利用実績となり、全体を通して102.5%の結果となった。	S	東北総合体育大会の会場となったことや弓道場の利用者数増加により、全体的な利用者数が増加した。	S
⑪収支実績	○上記「5. 管理運営収支実績」のとおり	○平成30年度計画に対し、収入は100.9%と増額することができた。対前年度比では、自主事業の内容、教室数を精査したことから、自主事業収入において減となったが、利用調整の工夫により利用料収入を増とし、全体で、昨年度並みの収入を維持することができた。 ○支出は経費節減に努めながら、利用者の安全確保及び利便性向上のための修繕等を適宜実施し、対計画比100%と計画通り適切な執行とすることができた。	S	利用調整の工夫を行うなど、利用料収入の確保に努めている。 また、経費の削減に努めるとともに、利用者の安全対策及び利便性向上を図るための修繕に力を入れた。	S
⑫その他の取組	○「わが社のeco do!宣言」を行い、積極的に環境配慮の取組みを実践した。 ○平成26年度より武道館が地域防災計画に定める避難所として指定されており、関係機関と連携を図るとともに防災意識の向上に努めた。	○ゴミ発生量の削減、グリーン購入に努め職員全体の環境配慮の意識を高めることができた。 ○避難所として必要な備蓄品を見直すなど防災意識の向上を図ることができた。	S	仙台市の補助避難所として指定され、地域の防災計画に協力している。 ゴミ発生量の削減、グリーン製品購入など、環境への配慮に努めている。	A
総合評価		○武道の振興に寄与する施設として、指導者向けの研修会、選手の競技力向上を目的とした錬成大会を開催し、その役割を担うことができた。 また、走り方教室やダンス・卓球利用等の武道に限らない多種多様な利用形態に柔軟に対応し利用者ニーズに沿った管理運営を行うことができた。	S	世代別事業プログラムの提供など、利用者の視点に立った事業展開及び広報活動等を実施しており、その結果、計画より利用料収入の増加が見られた。 また、指導者講習や錬成大会の開催など、武道の振興や競技力の向上に貢献している。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	高齢者層にあたる利用者が増加しており、施設のバリアフリー化のニーズが高まってきている。 また、施設の老朽化が進んでいることから施設・設備の修繕や更新に加え、定期的なメンテナンスが建物の長寿命化につながると考える。	今後も武道振興に寄与する施設として、指導者講習会、青少年への普及事業に取り組む一方で、武道に限らない多目的な利用で県民の多様なニーズに応え、地域に根ざした施設となることを期待する。 なお、老朽化した施設・備品の修繕及び更新については、安全性を第一に、かつ費用対効果を考慮した上で、中長期的に実施していく。